

## 「有識者の職場訪問」の実施

オピニオンリーダーとしてご活躍されている有識者の方々に国家公務員の働く職場をご訪問いただき、職員の働く姿、公務職場の実情などについて理解を深めていただくとともにご意見をいただくことを趣旨とした「有識者の職場訪問」を平成23年11月11日（金）に、宮崎市で実施しました。

経営者、報道機関、労働団体から9名の有識者の方にご参加いただき、今回は防災をテーマとして、宮崎県央・県南・県西の河川、砂防、海岸、道路の4事業を担っている国土交通省の「宮崎河川国道事務所」と、宮崎県内の気象観測と気象予報・警報や火山監視などを担っている気象庁の宮崎地方気象台をご覧いただきました。

参加された有識者からは活発な質疑とともに、次の感想が寄せられましたので、その一部をご紹介します。

「一般人として訪問した経験はあったが、今回は業務内容や勤務の実態などを所長、台長らより詳しく説明いただき、業務の複雑さや多忙さがよく分かった。」

「今後はデジタル化・ＩＣ化がさらに進化し、人間味としての感覚が薄くなってくると思われるが、そうした中でも少数精鋭で頑張れる人間味ある行政システム作りを考えていただきたいと感じた。」

「防災については、昨今特に関心があったので、丁寧な業務説明や現場見学は非常によく理解できた。」

寄せられた感想から有識者の皆様には、国の第一線の職場で働く職員の状況や苦勞の一端にも触れていただき、一層理解を深めていただいたように感じました。また、公務に対する貴重なご意見もたくさんいただきました。人事院九州事務局では今後ともこのような企画を進めていきたいと考えています。

（宮崎河川国道事務所）



災害対策用機械の機能と役割の説明を受ける有識者

（宮崎地方気象台）



気象観測機器による情報処理の説明を受ける有識者